

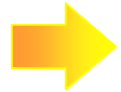


ORACLE®

Oracle Outside In Technologyのご紹介

日本オラクル株式会社
Embeddedビジネス推進部
2009年7月21日

アジェンダ



- Oracle Outside In Technology概要
- Oracle Outside In Technologyコンポーネント
- Appendix

Oracle Outside In Technologyとは?

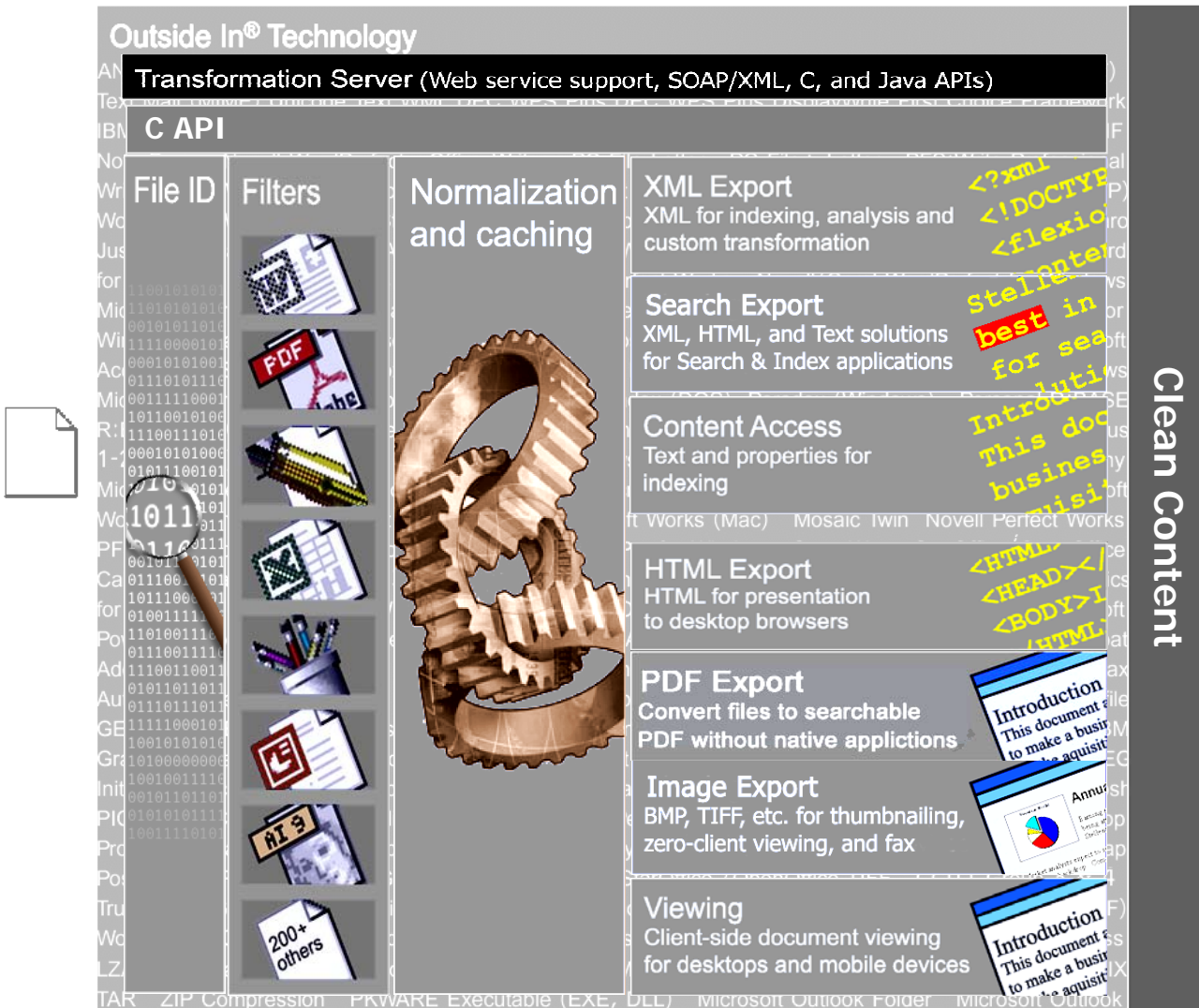
- Oracle Outside In Technology(OIT)は、400種類を超える非構造化ファイル・フォーマットのコンテンツへのアクセス、変換、およびコントロール機能を備えたソフトウェア開発者向け統合ソリューションです。
- OITが提供するツールによって、Microsoft Office 2007などの最新のオフィス・スイートから、特殊フォーマット、レガシー・ファイルまで、さまざまな非構造化ファイルをコントロール可能な情報に変換することができます。



OIT対応ファイルフォーマット

- 文書
Word, Lotus-Word, RTF, 一太郎、StarOffice/OpenOffice Writer, etc.
- 表
Excel, Lotus 1-2-3, StarOffice/OpenOffice Calc, etc.
- プレゼンテーション
PowerPoint、StarOffice/OpenOffice Impress, etc.
- データベース
Access, dBASE, FoxBase, etc.
- グラフィック
PSD, PDF, AutoCAD, BMP, JPEG, PNG, TIFF, VISIO, Corel Draw, etc.
- アーカイブ
zip, gzip, tar, lzh, lza, etc.
- その他
HTML, Flash, MS Project, vCard, etc.

OITアーキテクチャ



OITコンポーネント一覧

機能	コンポーネント	マーケット
識別	File ID	セキュリティ コンテンツ マネージメント
可視化	Viewer	電子情報開示 コンテンツ マネージメント アーカイブ&レコード マネージメント デスクトップサーチ
フィルタリング	Content Access Search Export XML Export Clean Content	Search セキュリティ フォレンジック調査 電子情報開示 コンテンツ マネージメント
変換	Image Export PDF Export HTML Export	ドキュメントイメージング 電子情報開示 アーカイブ&レコード マネージメント デスクトップサーチ Web Publishing ブラウザベース ドキュメントアクセス
Scrub & Burst	Clean Content	セキュリティ/コンプライアンス 電子情報開示 フォレンジック調査 コンテンツ マネージメント

OITのメリット

■ 多種多様なファイルフォーマット(非構造化データ)に対応

堅牢なフィルタにより、ネイティブアプリケーションなしで、異なるプラットフォーム上で400以上のファイル形式へのアクセス、変換、およびコントロール機能を提供します。

■ 新機能による付加価値向上

柔軟で相互運用性のある9つのSDKを組み合わせることで、様々な要件に対応。

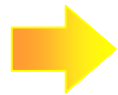
■ 開発期間を短縮

完全なドキュメントとソース・コード付きのサンプル・アプリケーションによって、効率的な開発を実現できます。

■ 豊富な導入実績

LexisNexis、Guidance Softwareをはじめとする数百にのぼる業界のリーダー企業に導入された実績あるテクノロジーです。

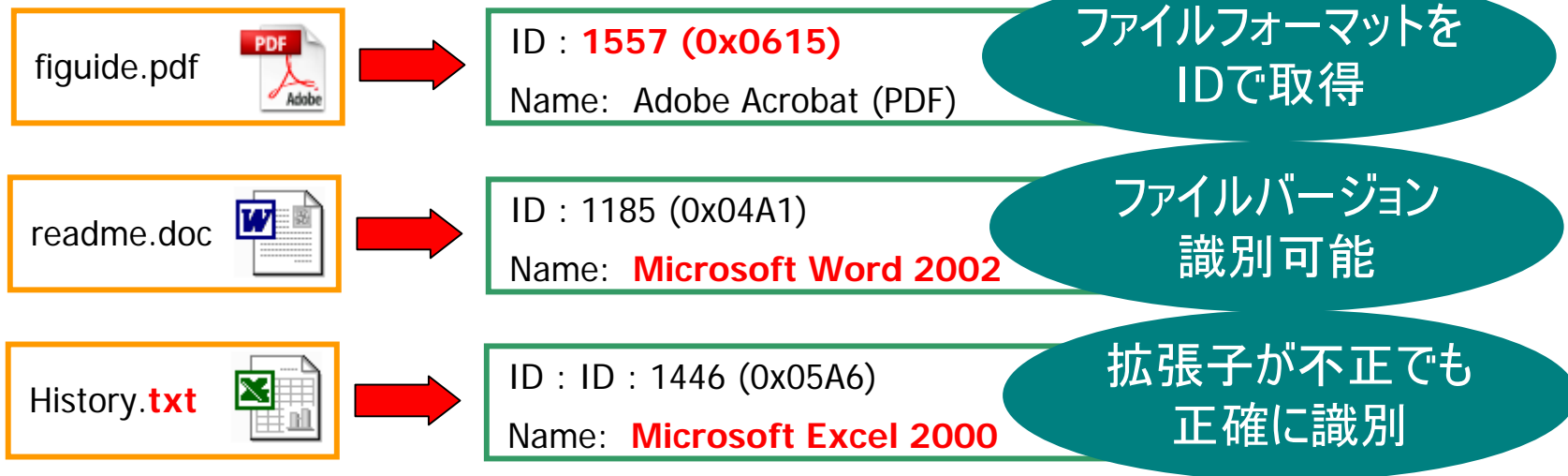
Agenda



- Oracle Outside In Technology概要
- Oracle Outside In Technologyコンポーネント
- Appendix

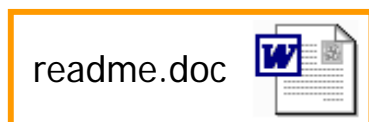
File ID

- File IDはファイルのフォーマットを識別し、定義済みのファイルIDを取得します。
 - 400以上の異なるファイル形式を識別できます
 - 信頼性の低い拡張子、MIMEタイプを利用しない独自アルゴリズム
 - 高スループット、サーバー環境にも適用できます

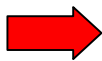
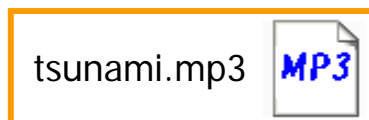


Content Access

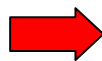
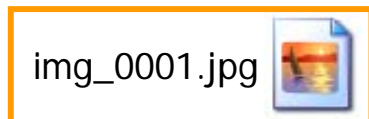
- Content Accessはコンテンツファイルからテキスト、プロパティ及びメタ情報を取得します。
下記二つのAPIがあります
 - Content Access
メタデータ、組込データ及びテキスト情報取得できます
 - Text Access
テキスト情報取得できます



テキスト情報、プロパティ、組み込みデータ



タイトル、アーティスト、ジャンル、アルバム、トラックなどのID3タグ情報

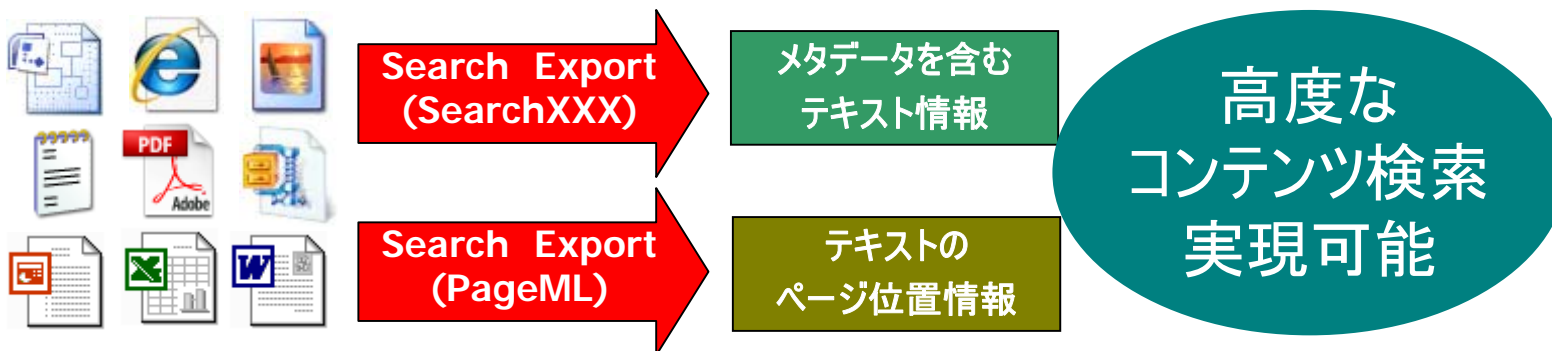


画像情報、デジカメ撮影パラメータなどのEXIFタグ情報

コンテンツの
テキスト情報
抽出、検索

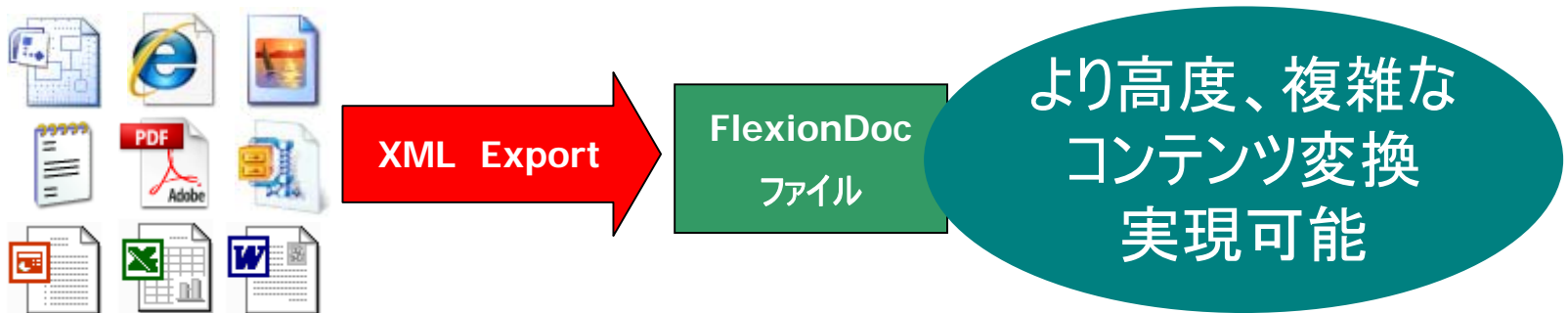
Search Export

- Search Exportはコンテンツファイルにあるテキスト情報を検索可能な形式で出力します。
 - 出力データのフォーマットは選べます
 - SearchML/SearchHtml: XML/HTML形式
 - SearchText: プレーンテキスト
 - PageML: コンテンツ印刷時のページ情報
 - メタデータのみ出力可能
 - Redirect IO機能で ファイル以外のストリーミング(URL, 専用ファイルシステムなど)対応可能



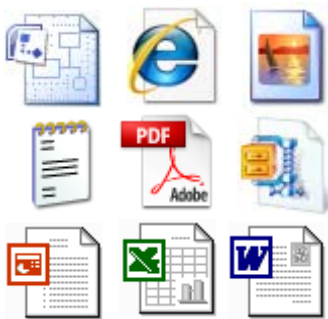
XML Export

- XML ExportはコンテンツファイルをFlexionDocファイルに変換します。
 - FlexionDoc 5.2準拠
 - より詳細なコンテンツ情報を取得できます
 - XSLTを活用して、コンテンツ変換のカスタマイズができます
 - Redirect IO機能で ファイル以外のストリーミング(URL, 専用ファイルシステムなど)対応可能



HTML Export

- HTML ExportはコンテンツファイルをHTML形式に変換します。
 - HTML(1.0 - 4.0)/MHT対応
 - 出カイメージフォーマットはGIF, JPEG, PNGから選択できます
 - テンプレートファイル利用で、変換出力結果のカスタマイズ可能
 - Redirect IO機能で ファイル以外のストリーミング(URL, 専用ファイルシステムなど)対応可能



HTML Export



HTML文書

Webベースの
コンテンツ閲覧
実現可能

Image Export

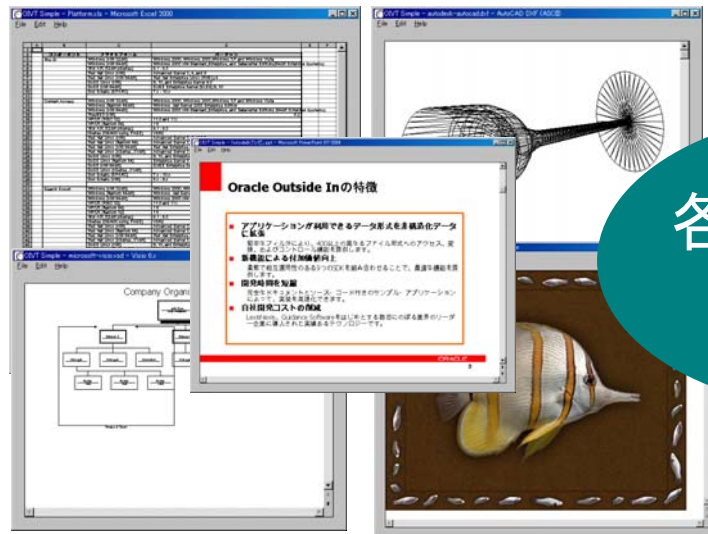
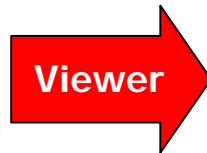
- Image Exportはコンテンツファイルをイメージファイルに変換します。
 - BMP,GIF,JPEG,PNG,TIFF対応
 - 出カイメージサイズ、解像度指定できます
 - Redirect IO機能で ファイル以外のストリーミング(URL, 専用ファイルシステムなど)対応可能



サムネイル作成
コンテンツプレビュー

Viewer

- Viewerはネイティブアプリケーションなしで、コンテンツファイルを開覧、印刷できます。
 - Windows/ActiveX/Linux/Unix対応
 - ドキュメント、表及びDBコンテンツを検索できます
 - 出力デバイスコンテキストにも描画できます
 - Remote Filter Accessでサーバー上にあるリモートファイルを開覧できます



各種コンテンツ
閲覧可能

PDF Export

- PDF ExportはコンテンツファイルをPDFファイルに変換します。
 - PDF version 1a(ISO19005-1)準拠
 - 独自レンダリングエンジン、サードパーティー機能を利用しません
 - Redirect IO機能で ファイル以外のストリーミング(URL, 専用ファイルシステムなど)対応可能



コンテンツファイル
一元化管理
実現可能

Clean Content

- Clean ContentはOfficeドキュメントから機密情報を検出、または削除できます。
 - Word, Excel, PowerPoint, PDF対応
 - PowerPointファイルの分割／結合
 - Pure Java実装

The image shows a comparison of document metadata before and after Clean Content processing. On the left, the '処理前' (Before) state shows a document with sensitive information like '所有者' (Owner), '会社情報' (Company Information), '変更履歴' (Change History), and 'Word版の管理' (Word Version Management). On the right, the 'Clean Content処理後' (After Clean Content Processing) state shows the same document with this sensitive information removed. A large blue oval on the right contains the text '情報漏えい及びセキュリティホールリスク回避が可能' (Information leakage and security hole risk avoidance is possible).

処理前

所有者
会社情報
変更履歴
Word版の管理

Clean Content処理後

情報漏えい及びセキュリティホールリスク回避が可能

ファイルの情報	ファイルの概要	詳細情報
タイトル(T):	xxx社向けプレゼン資料	
サブタイトル(S):		
作成者(A):	xx 花子	
管理者(M):	xxx 太郎	
会社名(O):	株式会社●●●	

御請求金額	コメント
¥9,500,000	wzhu, 2008/7/15 18:12 セル D18 の '¥9,000,000' を '¥9,500,000.00' に変更しました。

保存されている版	日付と時刻(T)	保存した人	コメント
	2008/07/15 18:12	wzhu	最終納品版
	2008/06/24 18:11	wzhu	再改定版
	2008/05/14 18:11	wzhu	改訂版
	2008/04/09 18:10	wzhu	初版

ファイルの情報	ファイルの概要	詳細情報
タイトル(T):		
サブタイトル(S):		
作成者(A):		
管理者(M):		
会社名(O):		

御請求金額	コメント
¥9,500,000	

保存されている版	日付と時刻(T)	保存した人	コメント

Agenda

- 
- Oracle Outside In Technology概要
 - Oracle Outside In Technologyコンポーネント
 - Appendix

プラットフォーム対応情報(1)

Oracle Outside In Technology v. 8.2.2											
Support Platforms by Software Development Kit											
Key											
AX - Viewer ActiveX	IX - Image Export	TS - Transformation Server									
CA - Content Access	PX - PDF Export	VT - Viewer Technology									
FI - File I.D.	SX - Search Export	XX - XML Export									
HX - HTML Export											
Binary set	OS version	AX	CA	FI	HX	IX	PX	SX	TS	VT	XX
FreeBSD x86-32	V 6.2		○								
HP/UX Itanium 32	V 11i (32bit binaries)							○			
HP/UX Itanium 64	V 11i V2		○		○	○		○			
HP/UX Risc 32	V 11.0		○		○	○		○		○	
	V 11.i		○		○	○		○		○	
HP/UX Risc 64	V 11.0 (with 32 bit binaries)		○		○	○		○		○	
IBM AIX (32 with Iseries)	OS/400 V5 R2 (with PASE libraries)		○	○	○	○		○		○	
	V 5.1		○	○	○	○		○		○	
	V 5.2		○	○	○	○		○		○	
	V 5.3		○	○	○	○		○		○	
Linux on PowerPC	Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 4		○		○						
	Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 5		○		○						
	SUSE Enterprise Server (SLES) 9		○		○						
	SUSE Enterprise Server (SLES) 10		○		○						
Linux (zSeries)	31 bit RedHat AS 3.0		○		○			○			
	31 bit RedHat AS 4.0		○		○			○			
	31 bit SuSE 9.0		○		○			○			

プラットフォーム対応情報(2)

Oracle Outside In Technology v. 8.2.2											
Support Platforms by Software Development Kit											
Key											
AX - Viewer ActiveX	IX - Image Export	TS - Transformation Server									
CA - Content Access	PX - PDF Export	VT - Viewer Technology									
FI - File I.D.	SX - Search Export	XX - XML Export									
HX - HTML Export											
Binary set	OS version	AX	CA	FI	HX	IX	PX	SX	TS	VT	XX
Linux Itanium	Red Hat AP 5.0		○		○			○			
	Red Hat AS 3.0		○		○			○			
	Red Hat AS 4.0		○		○			○			
	SuSe 10		○		○			○			
	SuSe 8		○		○			○			
	SuSe 9		○		○			○			
Linux x86-32	Red Hat AP 5.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Red Hat AS 3.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Red Hat AS 4.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SuSe 10		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SuSe 9.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SuSe ES 9		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Linux x86-64	Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 4		○		○			○			
	SUSE Enterprise Server (SLES) 9		○		○			○			
Netware	V 5.1				○						
	V 6.5				○						

プラットフォーム対応情報(3)

Oracle Outside In Technology v. 8.2.2											
Support Platforms by Software Development Kit											
Key											
AX - Viewer ActiveX	IX - Image Export	TS - Transformation Server									
CA - Content Access	PX - PDF Export	VT - Viewer Technology									
FI - File I.D.	SX - Search Export	XX - XML Export									
HX - HTML Export											
Binary set	OS version	AX	CA	FI	HX	IX	PX	SX	TS	VT	XX
Solaris SPARC-32	V 10		○		○	○	○	○	○	○	○
	v 8.x		○		○	○	○	○	○	○	○
	v 9.x		○		○	○	○	○	○	○	○
Solaris x86-32	V 10		○	○	○	○	○	○		○	
	v 8.x		○	○	○	○	○	○		○	
	v 9.x		○	○	○	○	○	○		○	
Windows Itanium	.Net Server 2003 Ent. Edition		○		○	○	○	○		○	
Windows x86-32	2000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2003 Server	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Vista	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	XP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Windows Server 2008		○		○	○	○	○		○	○
Windows x86-64	Windows Server 2003 x64		○	○	○	○	○	○		○	
	Windows Server 2008 x64		○	○	○	○	○	○		○	

Outside In Technology 関連URL

- 日本オラクルサイト

<http://www.oracle.com/lang/jp/technologies/embedded/outside-in.html>

- USオラクルサイト

<http://www.oracle.com/technologies/embedded/outside-in.html>

- Oracle Outside In Technologyダウンロードサイト

http://www.oracle.com/technology/products/content-management/oit/oit_dl_otn.html



ORACLE®

日本オラクル株式会社 無断転載を禁ず

この文書はあくまでも参考資料であり、掲載されている情報は予告なしに変更されることがあります。

日本オラクル社は本書の内容に関していかなる保証もいたしません。また、本書の内容に関連したいかなる損害についても責任を負いかねます。

Oracle、PeopleSoft、JD Edwards、及びSiebellは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の登録商標です。

その他の名称はそれぞれの会社の商標の可能性がります。